



ドイツ連邦共和国大使館 東京
Botschaft der
Bundesrepublik Deutschland Tokyo

i f a



Institut für Auslands-
beziehungen e. V.



明治大学国際連携本部

明治大学ドイツ研究会

駐日ドイツ大使館

共催

講演およびディスカッション

ドイツのエネルギー転換 — そのチャンスと障害

講演者：Dr. ペーター・ヘニッケ教授

(独ヴッパタール環境・エネルギー・気候研究所前所長)

2012年11月21日(水) 17:00~18:30

於： 明治大学 アカデミーコモン A5教室

(講演会終了後、ヘニッケ教授を囲んでのレセプションを予定)

福島事故後、ドイツが決定したエネルギー転換は世界の注目を集めた。原子力からの脱却と再生可能エネルギーの段階的拡大には、研究、経済、政治の各分野で多大な尽力が必要である。エネルギー転換は現在、どの段階に到達しているのだろうか？講演ではこの一大プロジェクトの持つ可能性とリスクに光を当てる。



Dr. ペーター・ヘニッケ教授 は、ヴッパタール環境・エネルギー・気候研究所の前所長。ヘニッケ教授は1987年以降、ドイツ連邦議会における大気圏保護調査会並びに持続可能なエネルギー供給に関する調査会等で有識者委員を複数回務めてきた。エネルギー転換に必要な条件と影響について研究を行っているが最近では、省エネがエネルギー転換を成功させるために果たす役割等エネルギー効率関連の研究にも取り組んでいる。

本講演会は一般公開の催しです。

(日独同時通訳付)